



Title	Lolita
Author(s)	滝口, 洋子
Citation	デザイン理論. 2013, 61, p. 148-149
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53435
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

Lolita

滝口洋子／京都市立芸術大学

近年京都ではCOOLJAPANとして海外でも人気の漫画、映像、ゲームなどのコンテンツを核に、ファッション産業や観光を盛り上げようと産官学が力をあわせるさまざまな計画が進められている。その取り組みのひとつとしてKYOTO STREET FASHION構想研究会によって「京都をテーマとしたロリータ服（京ロリ）コンテスト」が行なわれた。



コンテストの公開審査とお茶会風景
2011年6月4日 京都リサーチパーク町家スタジオ
参加者だけでなく審査員やスタッフもロリータファッションが多くみられた

ロリータ服とは、日本発のストリートファッションの一種でありいろいろなアレンジがみられるが、正統派のロリータ服はレースやフリルを多用した甘くロマンティックなお姫様スタイルで、映画「下妻物語」のヒロイン深田恭子の衣装が典型である。

本作品はコンテストの参考作品として制作したもので、正統派ロリータ服の対極ともいえるゴシック系ロリータ服（頽廃的イメージで修道女やヴァンパイアからのモチーフが使われ、ビジュアル系バンドのステージ衣裳などにもみられるスタイル）をゲームやコスプ

レイヤーに人気の戦国テイストでデザインしている。

作品は京都市伝統産業課の協力を得て、甲冑状のビスチェとベルト、脛当ての部分は京人形の平安武久 佐治壽一氏が、リボンイメージのくみひもは有限会社昇苑くみひもにて制作された。

2012年3月にみやこめっせ（Crafted in Kyoto展^{*}）で展示発表を行なった。さらに本年10月には東京の赤坂サカスでのイベントCOOLKYOTO（京都府主宰）ではファッションショー形式で出品予定である。

※ Crafted in Kyoto (K-mark プロジェクト) とは京都市立芸術大学デザイン研究室が京都の伝統産業の各種組合とともに2009年より取り組んでいるプロジェクトであり、京都で継承されてきた技術・素材・モノ造りのシステムを活用し、今日の生活・マーケットに相応しい新規商品の創出を目指している。



Crafted
in Kyoto



佐治氏工房で金属部分と組紐、衣裳をあわせて確認